

# 「愛」も「萌え」も 定義は広い。

～「萌え」を知るヒント～



押井徳馬  
(id:osito)

## 議論の絶えない「萌え」の意味

「萌え」という言葉がテレビでも広く用いられるように

→しかし、「萌え」とは何かを完全に理解しているわけではない

※「オタクがアニメのヒロインやメイド喫茶の店員や女性アイドルに夢中になる事」を漠然と指している事が多い

「萌え」という言葉を使っているアニメやゲームやアイドル等のマニアの間でさえ、「萌え」が何を意味するのかについて見解の相違がある例)

- ・「萌え」=偏った劣情の表れと主張する人 vs. 「萌え」と「エロ」は違うと主張し、それに激しく反撥する人
- ・どこからどこまでを「萌え」に含めるか 「漫画ではなく実在のアイドルに萌えという言葉はふさわしいか」等

# 補助線として:「愛」の分類

## 1. 古代ギリシャ語による「愛」の分類

アガペー(αγάπη): 博愛

無条件の愛、自己犠牲の愛、理性的な愛。  
「神の愛」と呼ばれる事も。  
「愛情を抱く」「友となる」の愛とは別物。

フィリア(φιλία): 友愛

親密な友情、性的でない愛情。

エロース(ἔρως): 男女の愛

男女のロマンティックな愛や、  
情欲的な性愛。

ストルゲー(στοργή): 家族愛

親子、兄弟姉妹、夫婦等に見られる、  
家族としての自然な愛情。

※ これらの重ね合わせパターンもあります。

## 2. 喩えによる「愛」の分類

夫婦のような愛

父のような愛

母のような愛

祖父母と孫のような愛

兄弟のような愛

姉妹のような愛

兄妹のような愛

姉弟のような愛

先生のような愛

「愛」は恋愛だけに限られません。

一口に「愛」と言っても、様々な要素があるものです。

# 補助線として:「かわいい」とは

ある人はこう言います...



「かわいい」とは、目下の無力な  
存在に対する支配欲の表れ

この考えは正しいですか？

ヒント

写真撮りまーす！  
そんな怒った顔しないで！  
笑って！ スマイル！

先生

おはようございます

# 「かわいい」は親しみのシンボル

挨拶・微笑み→「武装解除」

「相手にとって無害な存在」であり「親しみを示している」事の表れ。

敬語・お辞儀→「自分を相手より下の存在に置く、謙遜の表れ」

これらは「相手を支配したいという歪んだ欲求の表れ」？

→正しく用いられるなら、歪んだ支配欲ではなく、むしろ「平和で円滑な人間関係」をもたらす。

「かわいい」も「武装解除」

・「かわいい」も同じく、「相手にとって無害な存在」「親愛の情」のアピール。

・「相手に隙を見せる」のは、相手を信頼している証拠。

→悪徳商法や結婚詐欺等でこれらを悪用する人も確かにいるとは言え、もし正しく用いられるなら、平和で円滑な人間関係に役立つのでは？

・大人が子供や動物を「かわいい」と思うのは上下関係かもしれないが、「歪んだ支配欲」と一方的に決め付けるのは行き過ぎでは？

→世の中、自然な愛情が失われている？（昭和の感性をとりもどそう！）

「弱い相手に対する優位性」？

・小さい、弱いキャラクターに対する優位性を感じる、という見方は一面的。

力を持たぬ者がけなげに努力するいじらしさ、勇気、努力を応援し、賞賛する心は、むしろ培うべきではなからうか？

・完全無欠のスーパーウーマンではなく、身近で近づきやすい存在、自分たちと同じ弱さを持つ人間、という側面を表すことで、「共感」を呼ぶ(美女そのもののスーパーモデルと違う、あどけない日本のアイドルもそう)

・そもそも、強いヒーローキャラクターでさえ、どこかに弱点があるので、その「弱い」部分をどうカバーするかという話が、途端に物語を面白くする

日本の「かわいい」文化は平和の証

・「人を見たら泥棒と思え」の殺伐とした世の中では、「かわいい」は弱さの象徴であり、欠点でしかない

・日本では、伝統的に「可愛さ」「あどけなさ」を魅力とみなしてきた

・治安が比較的良い日本だからこそ発展してきた「かわいい」文化

# 「萌え」とは何か？

- ・「燃える」が語源 →「情熱が沸き起こる」こと。  
「仕事に燃える」の「燃える」と同じ
- ・アニメファンの間では、アニメのキャラクターやアイドル等に対する一種の「愛情」(ここで言う「愛」は、恋愛感情という意味に限定されない)を表す言葉として用いられてきた。「可愛さや魅力やシチュエーションが自分の好みのツボにはまって惚れ込むこと」「いとおしくてたまらないといった感情のこと」事などを「燃える」と表現してきた。
- ・要するに「スイッチが入っちゃう」状態
- ・1990年代前半までは「燃え」「もえ」と表記される事が多かったが、次第に「萌」の言葉が宛てられるようになった。
- ・時々、イコール劣情であるかのような説明をされることがあり、確かに1990年代にもそのような用法も見かける事が時々あったが、実際の用例を観察してみると、必ずしも同一ではない。自然な慈しみや、プラトニック・ラブである事も多い。

## 萌えキャラとは

- ・アニメ的キャラクターの中でも特に、「見て見て！」と言わんばかりに注目を引き、見る人の心を惹き付けて「萌え」させるキャラクターデザインや性格設定  
(大きな目などの漫画的誇張、女性っぽい、子供っぽい、動物っぽい造形、人なつっこさ)

参考資料: 1990年代のパソコン通信で配布されていた用語辞典

もえ～ (表) 何かに熱中したり、好きなもの憧れたりするものに対して用いる動詞。反復表現も可能。全角で使用する。 marioさんの「ナコモえ～」に由来。 Ex. 卯月もえもえ～／篠原涼子もえもえもえ～	
(CONNECT-NET 怪語辞典 初版、1994年)	
#萌える	[モエル] [一般動詞／感情] 非常に熱狂的な様子。愛していること。もえる、と読む。 燃え 燃え 燃え 燃え 燃ゑ 燃ゑ 燃ゑ 燃ゑ 萌え 萌え 萌え 萌え 萌ゑ 萌ゑ 萌ゑ 萌ゑ など多数の表記方法がある。濁点が多いほど愛の度合いが強いと見られることもある(場所によりけり)。 【用例】チャチャ萌え、ぷに萌え ◆萎える
#萌え～	[モエー] [感動詞] 雄叫び。たいそう気に入った様子。 ★いゝ～～～★脳味噌溶解★脳味噌がメルtdown
#萌え萌え	[モエモエ] (MOE-MOE) [形容動詞] 溺愛していること。 【用例】よっきゅん萌え萌え
#萌え尽きる	[モツキル] [一般動詞] 波動系への熱烈な愛により、完全に壊れること。 ★全壊★ぶっ壊れる
#モヘー	[モヘー] [名詞] 萌えている、の意。壊れている人が使う。 【用例】&gt; ぷにぷにぷにぷにぷにぷに……モヘー ついに君も壊れましたね(^; 同士!!(オ
(波動用語の基礎知識'95 Ver 1.05.00(1995/04/06版))	

# 「萌え」の始動スイッチ



「萌え」とは、言葉を換えるなら「カワイイスイッチ」のようなものかもしれません。心のスイッチが入ってしまって、思わず「きゃー可愛い」と心の中で叫びたくなってしまいう状態です。

スイッチをオンにする鍵を「萌え属性」と呼びます。これは人それぞれ異なるし、スイッチがオンになった時の反応も人それぞれ異なります。

ある人はメガネが可愛いと思うかもしれないし、ある人はメイドさんのふりふりエプロンかもしれない。ある人はドジキャラを可愛いと思うかもしれないし、ある人はツンデレお姉様かもしれない。

「うなじ」とか「見返り美人」というのも、古典的な「萌え属性」と言えるでしょう。

女の子キャラクターは服装や性格の幅広いバリエーションを描きやすいので、それだけ「萌え」スイッチをオンにする鍵のバリエーションは幅広いのですが、「萌え」とは別に女の子だけに限定されるわけではありません。

動物、特に猫でカワイイスイッチが入ってしまう人も多いものです。(蛇足ですが、主人に忠実な「犬」よりも、気まぐれな「猫」の方がオタクの世界では人気が高いのは不思議なものです。そしてこれは、「萌え」=「相手を自分の言いなりに従える」という意味では決してない事の有効な証拠です。)

スイッチが入ったときの反応ですが、もちろん恋愛感情として出力される人も少なくありません。しかし、それに限定はされません。猫萌えは特にそうですが、「恋」というよりは「慈しみ」に近い感情である事も珍しくありません。場合によっては「畏怖」とか「崇拜」という感情が交じる人もいるかもしれません。

このように考えてみると、「萌え」という概念が自分とは全く無縁のように感じている人でも、似たような現象は見たことがあったり自分自身体験しているかもしれません。あなたの心のスイッチを反応させるものは何でしょうか。是非探してみてください。

# 「どうして女の子のイラストばかり描くの？」

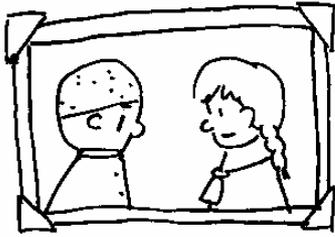
ある人はこう言います...

- 自分の理想の女性像の投影
- 本物の女性代わりに
- イラストなら思いのまま自在に操れる
- 売れるから

...だけで終わりですか？



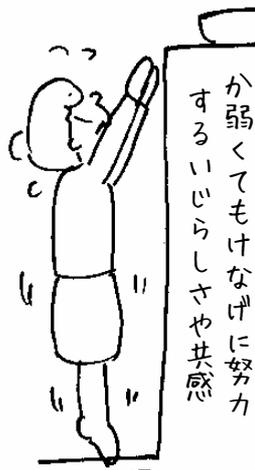
昔を懐かしんで



短い少女の時  
をはかなんで



成長のシンボルと  
して

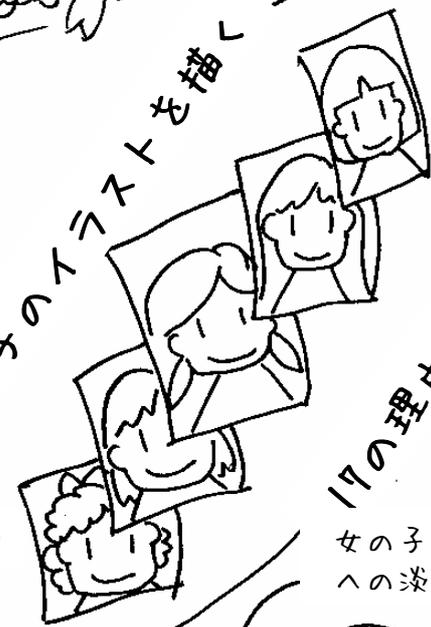


か弱くてもけなげに努力  
するいらいらしさや共感

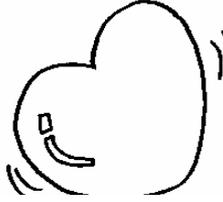


語り部や自分の分身として

女の子のイラストを描し



17の理由



繊細で叙情的な作品の魅力

女の子の世界  
への淡い憧れ

髪の毛や服装の種  
類の豊富さゆえ

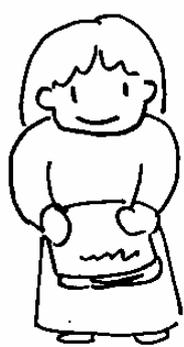


男性文化の暴力性  
に対する反撥

母性の象徴として



理想の女性像として



家族や友人の影響で



女性による擬人化は  
古代からの伝統

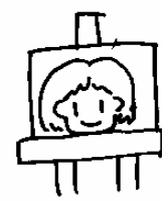
かおいくて  
親しみがあから



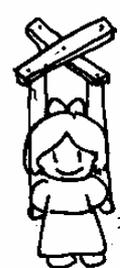
本物の代用品として



売れるから



絵なら思いのまま操  
れるから



「どうしてメイドさんは人気なの？」

- 考えてみましょう。

# 「どうしてメイドさんは人気なの？」

ある人はこう言います...

- 主人への忠誠(自分に尽くしてくれたり、何でも自分の言う事を従順に聞いてくれたりする存在)
- 主人と使用人の許されざる恋というシチュエーション
- 清純さのタブーを侵す背徳感

...だけでしょうか？

- 西欧趣味
- 豪邸暮らしへの憧れ
- メイドさんのいた昔の時代への興味、レトロ趣味
- 服装のクラシックな可愛らしさ
- 服装の上品さ、清純さ、ストイックさ
- けなげに働く姿へのいじらしさ
- hospitality(もてなしの精神)の美しさ

※老若問わずメイドさんを友達のように扱うフィクションのが一般的なのは日本的です。外国では、メイドさんとはむやみに話さないのが常識であり、外国のフィクションでは、メイドさんと親しくなるのは子供だけと相場が決まっているものです。子供の感性でキャラクターに接していると言えるかもしれません。

# 「萌え」にまつわる誤解

ある人はこう言います...

少女キャラクターの出てくる作品の  
愛好は、小児性愛につながる



・動機は人それぞれ違います。(「どうして女の子のイラストばかり描くの？」を参照)観察からすると、純粋に楽しんでいる人が意外と多いものです。目立つところが全てだと思うのは大間違いです。

・中には男性文化の一部に見られる「暴力と性を強調する傾向への反撥」が動機の背後にある事もあります。

・正しく用いるなら、むしろ逆に「人を傷付けるなんて可哀想」と感じる健全な心を育みます。

・少女に対する(というより、人間全般に対する)自然な慈しみの心こそ、誰もが培うべきものですし、むしろ薦めたい事ではないでしょうか。

絵は本物の代用品。  
本物のほうがずっと良い。



・絵にも本物にも、それぞれの良さがあります。

・写真や生の風景は素晴らしいですが、絵にも別の良さがあります。

・本物の熊を飼うよりも、ぬいぐるみや絵の方が好きという人は多いですね。

・片や、女性の“代用品”としての絵を否定しながら、一方で実写ポルノや娼婦といった、これまた“代用品”を薦めるといふ矛盾は止めましょう。

萌えキャラに夢中になると  
現実と虚構を混同して犯罪に至る



・架空の作り話を現実っぽく見せて、読者や観客をその世界へ引き込み魅了し共感と呼び涙を誘う。それこそ作品の使命と言えるではありませんか。

・「心の中に犯罪的な空想の世界を創り出しているのでは？」と心配になる気持ちもわかりますが、逆に、自然な慈しみの心を培うのに役立つ作品に、見る人の良い動機があるなら、むしろ良い結果を刈り取るでしょうし、そのような愛好をしている人も多くいます。これは、むしろ薦めたい事ではないでしょうか。

・「現実と虚構を混同」云々と非難するのであれば、是非今年の冬から家庭で実践しましょう。子供達がサンタさんにではなくて現実のパパママや家族に感謝してくれるといいですね。

# 「萌え」にまつわる誤解

ある人はこう言います...

「萌え」は男に都合良い紋切り型の女性像の押しつけでは...



・萌えキャラは、意外にも“ストライクゾーンが広い”ものです。性格に関して言うなら、どんな欠点でさえも「萌え属性」に昇華してしまうほどです(ツンデレが良い例)。

・ただ「バービー人形のようなセクシーなプロポーション」一色ではなく、活発なキャラや物静かなキャラ、お姉様キャラもいれば妹のようなキャラと、いろんなタイプがいるからこそ、ストーリーが面白くなるもの。

・可愛らしさを描くのは描き手のキャラに対する「親しみの表れ」です。

・美化して描くと「都合良いステレオタイプ」、弱さや欠点を描くと「弱い相手に対する歪んだ優越感」、一体どうしろと言うんだい。

目が異様に大きい造形は、デザイン感覚の欠如では...



・漫画は「誇張」の文化です。

・本物のネズミはミッキーマウスほど目も耳も大きくありませんね。

・顔が大きいと表情が見やすくなります。

・目が大きいことで、注目を引きつける効果があります。

・似顔絵が特にそうですが、絵は特徴となるパーツを誇張して描くと、本物よりそれっぽく見えるものです。

どう弁護しようと、「萌え」の本質は歪んだ劣情であるのは自明です



・「萌え」コンテンツの愛好家にも様々な立場の人がいます。

・健全で自然な慈しみの心を持って制作したり楽しんだりしている人々が実際にはいっぱいいますし、私自身、そのような人々と多く接してきました。

・その心の中にあるものは、描く作品等に自然とにじみ出てくるものですが、実際、純粋に楽しめるものも多く、決して「ごく一部」とか「特殊」とかではありません。例)「初音ミク」「ちゆるやさん」

・いわゆる成人コンテンツ愛好家の間であってさえ、女性を意のままに陵辱する内容とは全く正反対の、純朴な恋愛物語をベースにした作品が昨今はメジャーな人気と言われています。

# なぜ「萌え」は誤解されるか

- ・萌えキャラは「可愛らしさ」を誇張して描いたり声の演技をするために、小学生に思われてしまう
  - 実際にはこの種の誇張は、一般的な萌えキャラに限らない
  - 例)「ハチミツとクローバー」の花本はぐみ
- ・実情についてあまり知られていないゆえの疑心暗鬼。  
「目立つものが全て」であるかのように思われてしまう。
- ・文化の違いが誤解を生む。  
「オタクと一般人」の違いにとどまらず、オタクの中での文化の違い(萌え系キャラを許容するか否か、普段どれだけ成人向コンテンツに触れているか等)や、一般人の中での文化の違い(どれだけ漫画に親しんでいるか)もある
- ・自分が経験していない事柄は完全には理解できないもの
  - 多くの人が経験している知識の範囲内での説明をする工夫が必要
  - 場合によっては、「時を待つ」必要のある事も
- ・「愛」とは学ぶもの。  
人生経験の中で、どのようなカタチの愛情を注ぐ・注がれるという経験をしてきたかによって、「愛」のイメージが変わるし、「萌え」も然り
- ・いわゆる成人向け産業では「口実」が蔓延しているため、萌えも「口実」ではと思われる
  - たとえ真実を述べても、何もかもが言い訳に見えてしまう
- ・エロ解釈は簡単だし自分の出したい結論に結びつけやすい

# 「愛」が暴走する時

ただし、「萌え」も全能ではありません。

「愛」の暴走→利己主義等の弊害をもたらす

「恋愛」の暴走→ストーキング、性犯罪

「家族愛」の暴走→厳格過ぎる態度、甘やかし

「愛国心」の暴走→民族差別、戦争

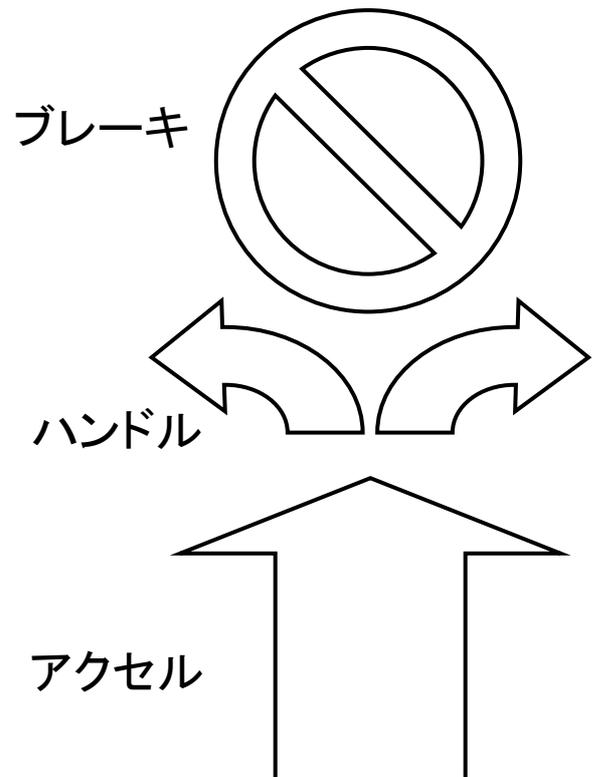
「神に対する愛」の暴走→宗教戦争、宗教弾圧

「萌え」の暴走→？

「萌え」は、人間の感情のエンジンを動かす「アクセル」

※でも、アクセルだけで十分？

→心の「ハンドル」や「ブレーキ」と協調することで、良い方向へと昇華



# 「萌え」と上手に付き合おう

皆さんも、近頃とかく悪者扱いされる「萌え」の良い側面をいろいろ発見できた事と思います。

私自身、たとえば「女の子のイラストを描く事」は、小学時代のトラウマからか、何か恥ずかしい事とか罪悪感のようなものを感じてきました。しかし、「なぜ女の子のイラストばかり描くの？」という疑問の答えが見付かった時、その「心の壁」が音を立てて崩れ去ったように感じました。本人ですら忘れかけている、ごく自然な感情がベースになっていたのだ、という事がだんだんわかってきた時には安心感を覚えたものです。

「萌え」と上手に付き合しましょう。良い方向で活用するなら、自然な慈しみの心を育て、人の心を良い方向に築き上げるものとなり得ます。そんな人の裾野が広がっていくことを、私は願っています。